

# 患者の皆様へ

2016年10月28日

血液内科

現在、血液内科では、「慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する化学療法の実態調査」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（慢性活動性 EB ウイルス感染症）の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名 「慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する化学療法の実態調査」

2. 研究の意義・目的 「 EB ウイルス陽性 T/NK 細胞増殖症（慢性活動性 EB ウイルス感染症、CAEBV と略します）は、ヘルペスウイルスの仲間の EB ウイルスが白血球のひとつであるリンパ球の中で勢いをまし、その結果ウイルスをもつリンパ球自身を活性化させ、増やすことによって様々な症状をひきおこす慢性の病気です。日本をはじめとする東アジアに見られる、大変まれな病気です。ウイルスが B 細胞以外のリンパ球、T 細胞、NK 細胞に感染すると、勢いをましてウイルス自身が増えるほか、感染している T 細胞や NK 細胞をふえやすく、活動性の高いものに変えてしまいます。これを再活性化といいいます。T 細胞、NK 細胞は体にはいつてくる様々な病原体に対し、サイトカインという物質をだして攻撃したり、直接それらを食べたりして体を守ってくれる細胞です。それらの細胞が活性化するとさまざまな症状が出てきます。また長い時間を経てそれらの細胞ががん化し、リンパ腫や白血病になります。これまで各種の抗がん剤による治療法が試みられてきましたが、有効な治療法が定まっていません。大変稀な病気のため報告が少なく、どんな薬物療法がなされどのような効果を示すかを多くの患者さんに対して調査したデータはこれまでありませんでした。それが明らかになればより有効な治療の選択や計画に役立つことが期待されます。」

3. 研究の方法 研究では、全国の血液内科（日本血液学会研修施設など）にアンケート調査を行い、患者さんの数と行った治療、効果について調査します。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、東京医科歯科大学医学部附属病院のカードキー入室の部屋で、外部通信と隔絶したコンピュータ内で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関：東京医科歯科大学医学部附属病院を研究代表機関とする他施設共同研究：千葉大学医学部附属病院血液内科を含む日本血液学会研修施設 495 施設、日本小児科学会研修施設 513 施設。**

**本件のお問合せ先：東京医科歯科大学医学部附属病院 血液内科**

**実施責任者：新井文子**

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 03-5803-5211(ダイヤル)(対応可能時間帯:平日 9:00~17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)